

リチウムイオン電池の 安全性評価

リチウムイオン二次電池は、モバイル、車載、定置など用途が拡大し、全固体電池などの新奇電池の実用化も期待される昨今、安全性評価がますます重要になっています。コベルコ科研では、全固体電池から大容量の電池パック評価まで対応可能な試験施設、装置、メニューを駆使し、お客様のご要望に沿った試験法案のご提案と評価により、お客様の安全対策、開発の支援を行います。

試験施設

	ドームチャンバー	キュービックチャンバー	排ガス処理設備
施設写真			◆アフターバーナー ⇒ 燃焼機構による炭化水素や一酸化炭素の無害化処理が可能 ◆アルカリ洗浄式スクラバー ⇒ 硫化水素等の酸性ガスの処理が可能
施設能力 (目安)	セル：200Ah モジュール：10kWh パック：10kWh	セル：100Ah	

容量上限は、電池材料や試験内容により変動します。

◆大容量(~70kW)の安全性評価

協力会社の排煙処理設備付きの大型試験場にて試験可能です。



試験メニュー

- 耐火試験 : 最大試験体寸法/最大重量 : 2100mm×2600mm/600kg
- 外部短絡試験 : 抵抗値0.5~100mΩ
- 落下試験 : 最大落下高さ4m、最大重量400kg
- 加熱試験 : 加熱媒体 ⇒ 各種ヒーター対応、最大温度500℃
- 過充電試験 : 最大電圧500V、最大電流250A、それ以上の場合は設備レンタルにて対応可
- 類焼試験 : 試験条件により都度検討
- 水没試験 : 溶液 ⇒ 水または塩水、最大重量400kg
- 釘刺し試験 : 試験体長さ500mm、最大荷重50kN、試験速度0.1~150mm/s
- 圧壊試験 : 試験体長さ1200mm、最大荷重1500kN、試験速度0.1~35mm/s
- ◆ DISC試験/CISC試験, 実車試験, 発生ガス速度等、その他ご要望に応じてカスタマイズ試験も可能。

この技術資料に関するお問い合わせは、最寄り営業担当に連絡いただくか、もしくは弊社問合せ窓口までお知らせください。
mailto:inquiry_eigyo@kki.kobelco.com